



**中内 啓光 (NAKAUCHI Hiromitsu)**

東京大学医科学研究所 幹細胞治療分野 特任教授  
スタンフォード大学、幹細胞生物学・再生医療研究所 教授

横浜市立大学医学部卒業、  
東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。  
医学博士。

---

横浜市立大学医学部在学中にハーバード大学医学部に 1 年間留学。卒業して横浜市立大学病院研修医を務めた後、東京大学大学院医学系研究科博士課程に入学。医学博士号を取得後、スタンフォード大学に留学、CD8 遺伝子のクローニングを行う。その後、順天堂大学医学部、理化学研究所フロンティア研究システム研究員、チームリーダーを務めた後、筑波大学基礎医学系の教授に就任、一個の純化した造血幹細胞による骨髄再構築を成功させた。2002 年より東京大学医科学研究所教授に就任し、2008 年より東京大学に新しく設置された幹細胞治療研究センターのセンター長を務める。2014 年より Stanford 大学教授を兼務。2017 年 3 月をもって東京大学を定年退官となるが、特任教授として引き続き医科学研究所で研究を続けている。

大学院時代より一貫して基礎科学の知識・技術を臨床医学の分野に展開することを目指している。

ISSCR (国際幹細胞学会) Board of Director, 日本再生医療学会理事長等を務めている。

主な著書に『再生医療へ進む最先端の幹細胞研究—注目の iPS・ES・間葉系幹細胞などの分化・誘導の基礎と、各種疾患への臨床応用』(山中伸弥との共編、羊土社、2008)、『現代生物科学入門 第 7 巻 再生医療生物学』(共著、岩波書店、2009)、『幹細胞』<再生医療叢書> 日本再生医療学会(監修)(山中伸弥との共編、朝倉書店、2012)、などがある。

主な受賞は、造血幹細胞研究の業績に対して Erwin von Baelz Prize (1st prize)、ISEH (国際実験血液学会) より Donald Metcalf Lecture Award, ISSCR では Ernest McCulloch Memorial Lecture、日本血液学会から日本血液学会賞等が授与されている。